

## 第 32 回交通工学研究発表会 開催のお知らせ

第 32 回交通工学研究発表会につきましては、各分野の研究者・実務者から多数の論文報告を頂き、下記のとおり開催する運びとなりました。会員の皆様方をはじめ関係各位多数のご聴講と活発なご意見の交換を期待しておりますので、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、当会の自主研究活動につきましては、発表会場では口頭発表による中間報告、デモンストレーション会場ではパネル展示を致します。この機会に研究発表会にご参加の方々にも交通工学研究会の活動を知って頂く機会として、多くの方々にご参会いただきますようご案内いたします。

1. 主催 : 一般社団法人 交通工学研究会
2. 開催日 : 平成 24 年 9 月 18 日(火) ~ 19 日(水)
3. 会場 : 東洋大学 白山第二キャンパス B 棟 [東京都文京区白山 2-36-5 TEL 03-5844-2400(代表)]  
都営地下鉄三田線白山駅 A1 出口より徒歩 6 分、東京メトロ南北線本駒込駅 1 番出口より徒歩 10 分
4. 参加費 : 発表者、聴講者 共通  
会員 6,000 円 一般 9,000 円 学生会員 3,000 円 (いずれも論文集代(CD-ROM) 消費税含む)
5. 申込方法 : 参加申込書にご記入の上、当会宛にファックスまたは郵送願います。  
メールでお申し込みされる場合は、参加申込書を参考に必要事項を記載の上、  
メールタイトルを「第 32 回交通工学研究発表会申込」とし、event@jste.or.jp 宛に送信ください。

### 交通工学研究発表会 懇親会

交通工学研究発表会では、参加者及び会員相互の親睦を深めることを目的に懇親会を行っており、毎回ご出席された皆様方には大変ご好評を頂いております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

- 開催日 : 平成 24 年 9 月 18 日(火) 18:30 より  
会場 : 東洋大学 白山第二キャンパス 学生食堂 C 棟 2 階  
会費 : 3,000 円 (立食形式です。当日懇親会場にて現金でお支払い願います。)  
申込方法 : 発表会への申込時に、懇親会参加希望欄にご記入ください。

### 交通工学研究会 自主研究活動報告

交通工学研究会では、公益事業の一環として自主研究を行っています。今年は、現在活動中の交通工学研究会震災基幹研究についての口頭報告が行われます。また、デモンストレーション会場では、平成 24 年度活動中の自主研究をパネル展示によりご報告いたします。研究発表会プログラムのデモンストレーションの時間帯には、自主研究グループの専任説明員を配し、活動経過を説明いたします。今回ご報告する自主研究は下記のとおりです。

<口頭報告:9月19日12:05~ 第1会場>

1. 交通工学研究会震災基幹研究について (代表:元田良孝/岩手県立大学)【基幹型研究】  
昨年の東日本大震災を機に開始された、交通工学研究会の震災基幹研究について、その経緯、活動、今までの成果、今後の方向について説明を行う。

<パネル展示:デモンストレーション会場>

1. 交差点の自転車空間ガイドラインの研究 (代表:久保田尚/埼玉大学)【公募型研究】
2. 交通事故ハザード評価法の新規開発と個人対応型対策の実証的研究(代表:朴啓彰/高知工科大学)【公募型研究】

### 交通工学研究会 個人会員入会キャンペーンのお知らせ

当会では、7月17日~9月11日に個人会員への入会手続き頂いた方に限り、交通工学研究発表会参加費を免除するキャンペーンを実施いたします(論文集 CD-ROM は実費頒布)。上記期間にご入会頂いた場合の初年度年会費は正会員 8,000 円、学生会員 4,000 円で、一般参加費よりもお得になっております。この機会に、交通工学研究会への入会をご検討ください。

### 当会出版の書籍について

会場では、当会の書籍を割引価格にて販売いたしております。この機会に図書販売コーナーへ是非お越し下さい。

お申込み・お問い合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

# 参加希望の方は必ず事前にお申込みをお願い致します

## 第32回交通工学研究発表会 参加申込書

申込先 FAX 番号 : 03-6410-8718

勤務先住所	〒		電話番号		
勤務先名称					
参加者氏名	所属部課名	会員区分(印)	会員番号	懇親会参加(印)	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
その他(請求書発行に関するご要望など)					

9月上旬より順次、論文集(CD-ROM)と共に見積書・請求書・納品書及び参加カード等書類をお送りいたしますので、お手元に書類が届き次第、ご確認をお願いいたします。

開催日の1週間前になっても書類が届かない場合は事務局までご連絡ください。

参加カードは当日、名札と引換となりますので、必ずお持ち下さい。

お申込後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、または代理の方に変更される場合は、9月13日までに、必ず事務局にご連絡をお願いいたします。

当日ご欠席の場合でも、参加費のお支払いをお願いいたします。

お支払いは、郵便振替または銀行振込にてお手続き願います(振込手数料はご負担願います)。

当日のお支払はご遠慮願います。

悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会ホームページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせ致します。

9月11日以降にお申込の方は、論文集(CD-ROM)及び書類等は当日渡しとなりますので、直接受付にお越し下さい。

### 会場案内図 住所：東京都文京区白山 2-36-5



### 交通のご案内

#### 最寄り駅

- 都営地下鉄三田線 白山駅  
A1 出口より 徒歩 6 分

- 東京メトロ南北線 本駒込駅  
1 番出口より 徒歩 10 分

#### 乗り換え案内

- 東京駅から(約 25 分)  
都営三田線大手町駅(JR 東京駅丸の内北口より地下通路徒歩約 10 分) - <都営三田線> - 白山駅
- 品川駅から(約 35 分)  
京浜急行線品川駅 - <京浜急行線(都営浅草線直通)> - 三田駅 - <都営三田線> - 白山駅
- 羽田空港から(約 65 分)  
京浜急行線羽田空港駅 - <京浜急行線(都営浅草線直通)> - 三田駅 - <都営三田線> - 白山駅

# 第32回交通工学研究発表会 第1日【9月18日(火)】プログラム

○は発表者

## 《 第 1 会 場 》

## 《 第 2 会 場 》

## 《 第 3 会 場 》

<b>1. 交通流・交通円滑化(1)</b> 座長：吉井 稔雄(愛媛大学) 副座長：小谷 益男(株千代田コンサルタント)		<b>6. 運転者の視認・認知・挙動</b> 座長：大口 敬(東京大学) 副座長：金子 雄一郎(日本大学)		<b>11. 交通情報提供</b> 座長：宇野 伸宏(京都大学) 副座長：田中 伸治(横浜国立大学)	
9:00	1 高速道路利用後の自動車に着目した速度特性分析および安全性評価 ○坂本 淳 岐阜工業高等専門学校 山岡 俊一 呉工業高等専門学校 藤田 素弘 名古屋工業大学	34 図形情報板の構成要素の交互作用の検証と水準の変化に伴う感度の分析 ○飯田 克弘 大阪大学 面屋 菜波 大阪大学 阪本 浩章 大阪大学	67 都市間高速道路における事故通行止解除予測情報の提供検討(実務論文) ○佐藤 久長 中日本高速道路株 糸島 史浩 中日本高速道路株 近田 博之 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋株		
9:25	2 名古屋高速道路の入口合流部加速車線延長による効果検証(実務論文) ○田村 敬介 名古屋高速道路公社 山田 貴久 名古屋高速道路公社 中村 英樹 名古屋大学	35 4事象表示のジャンクション情報板視認性評価について(実務論文) ○澤田 英郎 西日本高速道路エンジニアリング関西株 安 時亨 西日本高速道路エンジニアリング関西株 寺中 孝司 西日本高速道路株 大國 守道 西日本高速道路株	68 大規模データを用いた情報提供と経路選択行動の実証的分析(実務論文) ○柳沼 秀樹 株道路計画 石田 貴志 株道路計画 足立 智之 西日本高速道路株 朝倉 康夫 東京工業大学		
9:50	3 都市高速道路の連続合流区間における円滑化施策の効果分析(実務論文) ○山田 純司 株オリエンタルコンサルタンツ 大澤 恭平 株オリエンタルコンサルタンツ 増田 智志 首都高速道路株 内海 和仁 首都高速道路株	36 可変式道路情報板に標示されるシンボルの分かりやすさに関する検討 ○滝沢 正仁 拓殖大学 木嶋 彰 拓殖大学 永見 豊 拓殖大学 阿部 雄毅 元拓殖大学	69 利用者の情報取得ニーズ簡易調査に基づく高速道路SA案内機能強化案の提案～常警道守谷・友部SA上り線データを用いた基礎考察 ○平沢 隆之 東京大学 山下 大輔 復建調査設計株 佐藤 啓輔 復建調査設計株 牧野 浩志 東京大学		
10:15		37 対面交通トンネルにおける照明の片側配列方式に関する評価(実務論文) ○平川 恵士 西日本高速道路株 萩尾 朋和 株高速道路総合技術研究所 相馬 隆治 中日本高速道路株 飯田 克弘 大阪大学	70 地方部高速道路での可搬式車両感知器と携帯型情報板による渋滞及び事故対策の効果検証(実務論文)《デモ有》 ○松下 剛 西日本高速道路株 児玉 知之 西日本高速道路総合技術研究所 今代 稔 西日本高速道路エンジニアリング中国株 小泉 直樹 株リオン		

休憩

10:45	5 ドライビングシミュレータを用いた高速道路サグ部追従挙動観測によるボトルネック現象要因の考察 ○伏屋 和晃 東京理科大学 葛西 誠 東京理科大学 寺部 慎太郎 東京理科大学	38 発光システム導入によるラウンドアバウトでの安全確認動作と車両挙動への影響分析《デモ有》 ○森本 清誠 名古屋工業大学 鈴木 弘司 名古屋工業大学 藤田 素弘 名古屋工業大学	71 情報提供施設の改良によるジャンクション部での路線間違い対策検討 ○飯田 克弘 大阪大学 小島 悠紀子 阪神高速技研株 平井 浩章 大阪大学 章一 公益財団法人高速道路調査会
11:10	6 高速道路サグ部におけるACC車両との路車間連携による交通円滑化(実務論文) ○金澤 文彦 国土技術政策総合研究所 坂井 康一 国土技術政策総合研究所 鈴木 一史 国土技術政策総合研究所 岩崎 健 国土技術政策総合研究所	39 カーブを含む道路区間における減速マーク表示の配列に関する理論的考察 ○四辻 裕文 山梨大学 喜多 秀行 神戸大学 佐々木 邦明 山梨大学	72 あられ検知器を用いた情報提供システムの開発と運用による交通安全対策(実務論文)《デモ有》 ○中村 克彦 東日本高速道路株 山村 義雄 東日本高速道路株 服部 浩彦 株ネクスコ・メンテナンス新潟 曾根 直人 株ネクスコ・メンテナンス新潟
11:35	7 東名岡崎地区暫定3車線運用による交通状況改善効果検証(実務論文) ○前田 忍 中日本高速道路株 田中 真一郎 中日本高速道路株 森北 一光 中日本高速道路株 近田 博之 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋株	40 道路構成要素の相違に基づく走行速度の変化に関する研究 ○沖本 洋人 国土技術政策総合研究所 本田 肇 国土技術政策総合研究所 高宮 進 国土技術政策総合研究所	73 ITS技術を活用した高速道路における車内注意喚起情報提供の効果 ○楠橋 康広 西日本高速道路株 張 峻屹 広島大学 藤原 章正 広島大学

<b>2. 交通流・交通円滑化(2)</b> 座長：屋井 鉄雄(東京工業大学) 副座長：中山 晶一郎(金沢大学)		<b>7. 交通行動分析・交通需要予測(1)</b> 座長：藤井 聡(京都大学) 副座長：倉内 文孝(岐阜大学)		<b>12. 歩行者・自転車交通(1)</b> 座長：山中 英生(徳島大学) 副座長：川杉 勝久(警視庁交通管制課)	
13:00	8 信号サイクル長の短縮へ向けた系統効果の基礎的検討 ○鳩山 紀一郎 東京大学 佐原 孝紀 東京大学	41 交通の地域性と交通事故の関係に関する研究 ○大柳 和紀 埼玉大学 小嶋 文 埼玉大学 久保田 尚 埼玉大学	74 信号交差点における横断歩行者のクリアランス挙動に関する研究 ○浅野 美帆 名古屋大学 張 馨 元名古屋大学 Wael K.M.Alhajjaseen An-najah National University 中村 英樹 名古屋大学		
13:25	9 検知器データを用いた突発事象発生時の流入交通量変動の可視化分析 ○小篠 耕平 神戸大学 井料 隆雅 神戸大学 上田 大樹 神戸大学	42 通勤時の利用交通手段が首都直下地震発生後の帰宅/滞留選択行動に及ぼす影響の分析～首都圏郊外における帰宅困難者を対象として～ ○高田 和幸 東京電機大学 藤生 慎 東京大学 小崎 伸悟 東京電機大学	75 歩行者優先道路における歩行空間占有行動の要因分析 ○柳沢 吉保 長野工業高等専門学校 高山 純一 金沢大学 松本 隆嗣 株NTTインフラネット 竹内 剣 長野県		
13:50	10 都市高速道路の感知交通量のバイアス補正手法の開発 ○白石 智良 千葉工業大学 赤羽 弘和 千葉工業大学 森田 紳之 株アイ・トランスポート・ラボ 堀口 良太 株アイ・トランスポート・ラボ	43 高速道路料金の割引による影響分析～新潟地方を対象として～ ○金子 雄一郎 日本大学 土屋 潤 日本大学	76 インタラクティブミュージックシステムの開発と歩行者行動の分析 ○森田 哲夫 群馬工業高等専門学校 牛田 啓太 群馬工業高等専門学校 岡田 晃志 関東測量株 久保 雄登 豊橋技術科学大学		

休憩

14:20	11 都市高速道路における臨界速度の自動設定法の開発とボトルネック容量分析への適用 ○白石 智良 千葉工業大学 赤羽 弘和 千葉工業大学 小根山 裕之 首都大学東京 田中 伸治 横浜国立大学	44 プローブカーデータを利用した経路選択モデルの検討 ○蛭田 智昭 株日立製作所 加藤 学 株日立製作所 奥出 真理子 株日立製作所	77 観光地における歩行者の「よそ見」に関する研究 ○吉城 秀治 岡山大学 橋本 成仁 岡山大学
14:45	12 幹線道路交差点における信号切り替わり時の自動車走行挙動の分析 ○小川 圭一 立命館大学	45 ネットワーク交通シミュレーションのための時間帯別OD交通量と確率経路選択モデルのロジット感度パラメータ推定プログラムの開発 ○小林 正人 株アイ・トランスポート・ラボ 堀口 良太 株アイ・トランスポート・ラボ 花房 比佐友 株アイ・トランスポート・ラボ 小出 勝亮 株アイ・トランスポート・ラボ	78 地方観光地における周遊手段としてのサイクルレインの可能性～埼玉県秩父地域を事例として～ ○村松 智史 大田区役所 吉田 樹 福島大学 東 秀紀 首都大学東京
15:10	13 混合交通流における離散選択型二輪車挙動モデルの構築 ○花守 輝明 京都大学 塩見 康博 立命館大学 宇野 伸宏 京都大学 嶋本 寛 京都大学	46 日変動を考慮した交通シミュレーションに関する研究 ○安田 治人 埼玉大学 福本 大輔 計量計画研究所 坂本 邦宏 イーグルバス株 久保田 尚 埼玉大学	79 自転車道の整備効果検証を踏まえた自転車通行空間の整備検討～桜通自転車道を事例として～(実務論文) ○山岸 弘明 株オリエンタルコンサルタンツ 藤岡 亮文 株オリエンタルコンサルタンツ 立松 秀樹 株オリエンタルコンサルタンツ 伊藤 博文 国土交通省名古屋国道事務所

デモンストレーション & 自主研究活動報告 《デモ有り》表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場

<b>3. 貨物交通・交通環境</b> 座長：若林 拓史(名城大学) 副座長：鳩山 紀一郎(東京大学)		<b>8. 交通行動分析・交通需要予測(2)</b> 座長：高山 純一(金沢大学) 副座長：井上 紳一(一般財団法人計量計画研究所)		<b>13. 歩行者・自転車交通(2)</b> 座長：元田 良孝(岩手県立大学) 副座長：橋本 成仁(岡山大学)	
16:05	14 AHPを用いた荷主による自家用・営業用貨物車の評価要因に関する分析 ○秋田 直也 神戸大学 大久保 隼人 株村田製作所 小谷 通泰 神戸大学	47 インドネシア人の学生におけるマイカー所有の希望についての考察 Prawira Fajarindra 京都大学 Belgiawan ○Jan-Dirk Schmocker 京都大学 藤井 聡 京都大学	80 広幅員歩道における自転車利用者・歩行者の通行遵守意識とその実態 ○吉村 朋矩 福井工業大学 三寺 潤 福井工業大学 和田 章仁 福井工業大学		
16:30	15 神戸港・大阪港で取扱われる国際海上コンテナ貨物の国内輸送実態の分析 ○秋田 直也 神戸大学 小谷 通泰 神戸大学	48 京都市におけるまちなかの賑わいに資するモビリティ・マネジメントの試み ○宮川 愛由 一般社団法人システム科学研究所 藤井 聡 京都大学	81 自転車の回避挙動モデルの構築に向けた基礎的検討 ○原田 英治 京都大学 後藤 仁志 京都大学 内屋 雅人 京都大学 宮崎 智博 京都大学		
16:55	16 都市内貨物自動車交通の価値観を考慮した道路利用実態に関する分析 ○玉川 大 阪神高速技研株 井上 徹 阪神高速技研株 北澤 俊彦 阪神高速技研株 村上 陽二郎 阪神高速道路株	49 マスメディアを活用した大規模モビリティ・マネジメント施策の有効性の検証～京都市の事例より～(実務論文) ○宮川 愛由 一般社団法人システム科学研究所 大井 貴之 京都市都市計画局 藤井 聡 京都大学	82 アイマークローダを活用した自転車案内サインの視認特性分析と自転車走行空間改善案に関する考察 ○鈴木 清 国土交通省香川河川国道事務所 砂川 尊範 株建設技術研究所 竹林 弘晃 株建設技術研究所 土井 健司 香川大学		
17:25	17 地球環境に優しい道路交通モードとしての二輪車・電動二輪車の有効性に関する実走調査 ○土肥 学 国土技術政策総合研究所 曾根 真理 国土技術政策総合研究所	50 職場MMの継続的展開の有効性に関する実証的研究 ○神田 佑亮 京都大学 谷口 守 筑波大学 尾高 慎二 株オリエンタルコンサルタンツ 佐藤 貴行 株オリエンタルコンサルタンツ	83 自転車案内サインの形状・サイズと判読性の評価実験《デモ有》 ○井上 賢 徳島大学 山中 英生 徳島大学		
17:50	18 鉄道踏切における一時停止義務解除時の大型貨物車がもたらす環境負荷量の推計 ○小林 貴 中央大学 坂本 将吾 中央大学	51 健康診断データを用いた交通行動と健康に関する基礎的研究 ○糟谷 賢一 東日本旅客鉄道株 Jan-Dirk Schmocker 京都大学 安東 直紀 京都大学 藤井 聡 京都大学	84 自転車ナビマークの導入とその効果について(実務論文) ○海老澤 綾一 警視庁 澤田 等 警視庁		

休憩

# 第32回交通工学研究発表会 第2日【9月19日(水)】プログラム

○は発表者

## 《 第1会場 》

## 《 第2会場 》

## 《 第3会場 》

<b>4. 交通安全(1)</b> 座長：藪 雅行(国土技術政策総合研究所) 副座長：森内 正寿(首都高速道路株)		<b>9. 交通データの新たな活用</b> 座長：高宮 進(国土技術政策総合研究所) 副座長：浜岡 秀勝(秋田大学)		<b>14. 公共交通</b> 座長：羽藤 英二(東京大学) 副座長：大沢 昌玄(日本大学)	
9:00	19 都市内高速道路における多車線道路区間を考慮した交通流領域別事故発生リスク要因分析 ○兵頭 知 愛媛大学 吉井 稔雄 愛媛大学 高山 雄貴 愛媛大学	52 ETC統計データを用いた車種別時間帯別ラップ間OD交通量推定の改良 ○廣川 和希 (一財)計量計画研究所 倉内 文孝 岐阜大学 大藤 武彦 株式会社交通システム研究所 小澤 友記子 株式会社交通システム研究所	85 鉄道の運転見合わせ時における利用者の情報取得行動分析 ○武藤 智義 日本大学 金子 雄一郎 日本大学		
9:25	20 NEXCO東日本新潟支社管内の逆走事案の実態分析(実務論文) ○岩崎 信治 東日本高速道路株 成嶋 晋一 東日本高速道路株	53 突発事象発生時における過去データを用いた所要時間算出論理の改良 ○萩原 武司 阪神高速道路株 岡田 直也 株式会社地域未来研究所 Chong Wei 東京工業大学 朝倉 康夫 東京工業大学	86 キャブティブ層を考慮した都市鉄道における混雑情報提供の有用性に関する研究 ○西内 裕晶 日本大学 遠藤 啓 東海旅客鉄道株 轟 朝幸 日本大学		
9:50	21 クラスアソシエーション分析を用いた都市高速道路における事故要因の階層的可視化 ○飯田 克弘 大阪大学 小柳 航 広島県	54 ITSスポットプローブデータによる高速道路における経路選択の試行分析(実務論文) ○村部 敏彦 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋株 綿内 忠昭 中日本高速道路株 上水 一路 中日本高速道路株 米川 英雄 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋株	87 アクアライン高速バスが利用満足度に及ぼす影響に関する研究 ○荒谷 太郎 (一財)運輸政策研究機構 西内 裕晶 日本大学 轟 朝幸 日本大学		
10:15	22 事故調書に基づく高速道路における高齢運転者特有の事故パターン分析 ○多田 昌裕 国際電気通信基礎技術研究所 飯田 克弘 大阪大学 安 時亨 西日本高速道路株 山田 憲浩 西日本高速道路株	55 光ビームから収集されるアップリンクデータの活用に向けた検討(実務論文) ○岩岡 浩一郎 パナソニックSSインフラシステム株 新倉 聡 神奈川県警察本部	88 コンケン市の主要交差点におけるBRT優先信号制御システムの導入に向けた分析 ○藤間 翔太 日本大学 福田 敦 日本大学 長田 哲平 日本大学		

休憩

10:45	23 信号交差点における横断歩道設置角度と交通事故との関係に関する研究 ○荻野 弘 豊田工業高等専門学校 伊藤 豊 愛知県警察本部	56 首都高速道路における交通管制データ精度向上への取り組み(実務論文) ○遠藤 学史 首都高速道路株 佐藤 克寿 首都高速道路株 山口 孝 株式会社道路計画	89 交通ICカードの電子マネー機能の利用実態とその意識に関する研究 ○辰巳 浩 福岡大学 堤 香代子 福岡大学 渡邊 譲治 福岡大学 松崎 将輝 那珂川町
11:10	24 自動車保険データを用いた交通事故の死傷者数と物損事故件数の推計 ○坂本 将吾 中央大学 今長 久 日本自動車研究所 鹿島 茂 中央大学	57 携帯電話基地局通信情報の行動分析への適用可能性把握 ○金杉 洋 東京大学 黒川 茂 株式会社KDDI研究所 村松 茂樹 株式会社KDDI研究所 関本 義秀 東京大学	90 利用頻度の違いに着目したDRTの利用特性に関する研究 ○橋本 成仁 岡山大学 北野 悠介 岡山大学
11:35	25 路面標示を用いた都市高速道路合流部における事故防止策の検討 ○飯田 克弘 大阪大学 日笠 誠 大阪大学	58 住宅地図データを用いた人々の時刻別空間位置の精細化 ○秋山 祐樹 東京大学 金杉 洋 東京大学 関本 義秀 東京大学 柴崎 亮介 東京大学	91 地方鉄道廃止後の廃止代替バスのあり方に関する一考察 ○宮崎 耕輔 香川高等専門学校 高山 純一 金沢大学 中山 晶一郎 金沢大学 西原 優太 香川高等専門学校
12:05	自主研究 交通安全研究会震災 基礎研究について 元田 良孝 岩手県立大学 清水 哲夫 首都大学東京 倉内 文孝 岐阜大学		

<b>5. 交通安全(2)</b> 座長：牧下 寛(科学警察研究所) 副座長：中村 克彦(東日本高速道路株)		<b>10. 超高齢社会と安心・安全</b> 座長：森本 章倫(宇都宮大学) 副座長：林 祐志(株オリエンタルコンサルタンツ)		<b>15. 都市交通計画</b> 座長：喜多 秀行(神戸大学) 副座長：奥田 舘夫(国土交通省都市計画課)	
13:30	26 北海道における三次医療圏中核都市からの距離を指標とした事故致死率評価分析 ○野田 雄介 北海道大学 秋原 亨 北海道大学 平澤 匡介 (独)土木研究所寒地土木研究所 原 久弥 国土交通省北海道開発局	59 アンケート調査結果からみる高速道路における高齢ドライバーの運転特性 高橋 秀喜 中日本高速道路株 Jian Xing 株式会社高速道路総合技術研究所 ○平井 章一 公益財団法人高速道路調査会	92 都市における総合交通計画の策定状況に関する特性分析 ○谷内 久美子 大阪大学 新田 保次 鈴鹿工業高等専門学校 守屋 智貴 大阪大学		
13:55	27 安全対策効果が持続しない箇所におけるアイカワ等の運転挙動・自動車工学・交通工学の連携による事故発生メカニズムの考察と対策の方向性 ○若林 拓史 名城大学 安藤 雅則 名古屋高速道路公社 川口 正 株式会社東京建設コンサルタント 堀江 侑生 名城大学	60 認知機能に着目した免許返納と交通事故の関連性把握 ○山本 和生 岡山大学 橋本 成仁 岡山大学	93 未着手都市計画道路に関する訴訟により提起された問題点への対応に関する研究-都市計画運用指針の改正と地方自治体の取り組み- ○渡邊 浩司 国土交通省 羽藤 英二 東京大学 岸井 隆幸 日本大学		
14:20	28 路車協調による右直事事故予防策の有効性に関する研究 ○塚田 悟之 日産自動車株 福島 正夫 日産自動車株	61 子どもの通学に対する保護者の犯罪不安感と取り組みに関する検討 ○塚田 伸也 前橋市都市計画部 森田 哲夫 群馬工業高等専門学校 湯沢 昭 前橋工科大学	94 ハーキングパーミット制度におけるプラスワン運動の有効性と課題について ○陸 維特 中国浙江省交通科学研究所 清田 勝 佐賀大学 石橋 孝治 佐賀大学		
14:45	29 首都高速道路におけるアイカワを活用した交通安全施設の評価(実務論文) ○荒川 太郎 首都高速道路株 長田 絢子 首都高速道路株 松沼 毅 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 大近 翔二 株式会社オリエンタルコンサルタンツ	62 子どもの生活街路利用における防犯安心感に対して歩行者の属性と沿道店舗の種類が与える影響の比較分析 ○高柳 百合子 国土技術政策総合研究所 明石 達生 国土技術政策総合研究所	95 自動車・自転車の需要と供給バランスを考慮した二輪車駐車場整備のあり方に関する基礎研究 ○杉山 亜也華 沼津市役所 岸井 隆幸 日本大学 大沢 昌玄 日本大学		

デモンストレーション & 自主研究活動報告 <<デモ有り>>表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場

15:40	30 速度抑制を目的とした路面標示パターンのDS評価および効果検証 ○河田 明博 株式会社東日本エンジニアリング 永見 豊 拓殖大学 清宮 広和 株式会社東日本エンジニアリング 中川 浩 東日本高速道路株	63 高齢層の交通行動パターンに着目した低炭素社会の構成についての考察 ○長谷川 陽平 関西大学 秋山 孝正 関西大学 井ノ口 弘昭 関西大学	96 道路整備に伴う経済波及効果算定手法の提案 ○安藤 正幸 株式会社日本海コンサルタント 高山 純一 金沢大学 中山 晶一郎 金沢大学 戸瀬 暖 株式会社日本海コンサルタント
16:05	31 2車線道路における緩衝分離構造の開発(実務論文) ○平澤 匡介 (独)土木研究所寒地土木研究所 渡邊 政義 (独)土木研究所寒地土木研究所	64 過疎地域での生活支援システムの構築に向けた人流・物流・福祉系サービスの実態調査 ~宮崎県西米良村小川地区を対象として~ 吉武 哲信 宮崎大学 ○上永 啓太 株式会社福山コンサルタント 白石 悦二 日本工営株 出口 近士 宮崎大学	97 多地域応用一般均衡分析を用いた高速鉄道整備による経済効果の計測 ○杉木 直 株式会社ト-コン 内田 賢悦 北海道大学
16:30	32 積雪地における冬期交通安全対策導入への取り組み(実務論文) ○浜岡 秀勝 秋田大学 伊東 成一 株式会社福山コンサルタント	65 応急仮設住宅におけるモビリティと生活支援サービスの提供に関する研究 ○吉田 樹 福島大学	98 事業実施効果の事後評価へのヒヤリハットデータの活用可能性に関する研究~名古屋環状2号線開通による時間信頼性・安全性向上効果の評価分析~(実務論文) ○北村 清州 一般財団法人計量計画研究所 牛居 恒太 国土交通省中部地方整備局 和泉 範之 一般財団法人計量計画研究所 菊地 春海 国土交通省中部地方整備局
16:55	33 幹線道路小交差点における見通しと自転車事故、車両挙動の分析 ○王 茹剛 徳島大学 三谷 哲雄 流通科学大学 山中 英生 徳島大学	66 被災地周辺における震災直後の交通・給油行動に関する考察 ○元田 良孝 岩手県立大学 宇佐美 誠史 岩手県立大学 佐藤 枝里子 株式会社ネクセリア東日本株	99 民間プローブデータの現状と道路交通マネジメントへの適用可能性(実務論文) ○鈴木 清 国土交通省香川河川国道事務所 土井 健司 香川大学 紀伊 雅敦 香川大学 立石 亮祐 株式会社福山コンサルタント